

市政懇談会

「みんな一緒にまちづくり」開催結果報告書

市政懇談会「みんな一緒にまちづくり」開催報告書

目 的

現在の留萌市を取り巻く状況について、昨年7月に「未来に希望のコミュニティ」10月に「地域代表との市政懇談会・財政の健全化」11月に「留萌市財政健全化計画・留萌市立病院改革プラン」など、市政懇談会を通して町内会長をはじめ多くの市民の皆さんと留萌市の未来に向けて情報の共有を行いました。

留萌市財政健全化計画、留萌市立病院改革プランを確実に進めながら、留萌の再生に向けて、4月から新たな市政運営がスタートします。

平成21年度の市政運営に当たり、担当各部が重点的に考えている仕事の内容について各町内会代表の方に説明し、各地域での課題などについて意見交換をすることにより、一層の情報共有を図るため開催しました。

開催状況

開 催 日	時 間	会 場	参加人数
4月 8日 (水)	午後6時30分 ～ 午後8時	港北コミュニティセンター	11 町内会 22 名
4月 9日 (木)		港東コミュニティセンター	18 町内会 49 名
4月10日 (金)		港南コミュニティセンター	15 町内会 21 名
4月13日 (月)		港西コミュニティセンター	20 町内会 40 名
4月14日 (火)		幌糠コミュニティセンター	2 町内会 12 名
4月15日 (水)		東部コミュニティセンター	8 町内会 15 名
合 計		6 会場	74 町内会 159 名

市政懇談会「みんな一緒にまちづくり」開催結果報告

市長挨拶（要旨）

- ・ 新年度を迎えて、いよいよ新たな財政再建でこれから7年間、厳しい歩みを続けていかなければならない。
- ・ 新たな財政健全化計画ということで、市民の皆さん方に大きな負担を強いるような計画を進めて行かなければならない状況である。
- ・ 特に、子どもたちの教育環境にまで手をつけざるを得ない、ぶるも等の休止を含めて、夢をもって頑張ってきた子どもたちの夢を奪うような状況になったことは本当につらい思いをさせてしまったと、改めて市民の皆さん方にお詫びを申し上げますなければならない。
- ・ この留萌の財政を持続可能な財政にしなければならない。
- ・ そのためにも地域の皆さん方の力が重要であり、町内会の皆さん方の協力なくしてはこれからの行政は成り立たない部分もある。
- ・ この厳しい状況を乗り越えていくためには、行政と市民との信頼関係なくして成し遂げることはできない。
- ・ その信頼関係を生むためにも、行政として汗をかき、しっかり、一生懸命、一緒になって働くことが信頼を得るものだと考えている。
- ・ また地域力がこれからのまちづくりの原点だと思っているので、市民の皆さん方と自治基本条例に則りながら、協働で一つひとつ皆さん方と進めていきながら、この厳しい7年間を乗り越えて、将来必ずや夢と希望の旗を、輝ける旗を皆さんと共に掲げていけるような、そういうまちづくりを、責任を持って進めていきたい。
- ・ 特に今年は、健康家族ということで健康を大きなテーマに掲げている。
- ・ 新年度を迎えるにあたり、庁舎に「いきいき ふんわり 思いやり」という健康づくり計画のスローガンを掲げた。
- ・ お年寄りが生き生きとした人生を送ってほしい、子供たちがふんわりとした真綿でくるむような環境で育ってほしい、市民一人ひとりの思いやり、そして行政の思いやりの大切さを市民にも、そして私をはじめ職員がその思いで今年度は取り組むという強い思いで掲げた。
- ・ 地域のコミュニケーションを図りながら、できるだけ高齢者社会になった、独居老人にも、できるだけ多くの地域の皆さんとふれあいながら、お年寄りが地域で安心安全な生活ができるように、更には子どもたちのこれからの人生を強く生き抜いてほしいということで、行政としてできるだけ配慮をしていかなければならないし、基本的には弱者を優先した行政をしっかり進めて行きたい。
- ・ コミセン単位で、町内会全体の連合町内会としての組織化というのが将来に向けてやっていかなければならないと思う。
- ・ 今回、4月にこういう会議を持たしていただいたので、次は10月に考えております。

更には10月までの間に7月には健康の駅がオープンするので、健康をテーマに町内会の代表の皆さん方に集まっていただく会議を持ちたい。

- ・ 1年間に町内会の代表の方に集まっていただく会議を、全体の集まりとして年2回、そしてこういう形で地域のコミセンで集まっていただく会議を年2回、1年間の計画の中でしっかり示しながら、定期的に皆さん方としっかり懇談が出来る仕組みを作って行きたい。

(幌糠地区分)

- ・ 財政再建とこの地域の振興、農業の振興を含めての地域再生、重要な課題だと受け止めているので、何とかこの地域の一次産業、特に農業を守っていききたい。そのためには大変高い評価をいただいているこの地域の米を、ともかく消費拡大に向けて、市民をあげて地産地消の観点に立って協力していききたい。
- ・ これだけ経済状況が厳しい中であってやはり物づくり、農業が私どもの原点であろうという、もう一度その原点に立ち返って、地域づくりやまちの経済というのを考え直さなければならない、大事な時期に来ていると思う。
- ・ 皆さん方と共にこの地域、そしてこの地域の農業、留萌の地域再生を、農業を守りながら、交流人口を増やししながら、何とかまちづくりに向けてがんばってまいりたいと思う。

各部からの情報提供

- ・ 各地域に関する「ことしの仕事、ことしの予算」について

海のふるさと館について(市長発言要旨)

- ・ 海のふるさと館は健全化計画では休止であったが、休止しても管理費がかかることもあり、観光協会が財政健全化計画に影響しない範囲での指定管理を受けてもらった。
- ・ もう一度、海のふるさと館は交流人口、留萌を訪れる人にとっては大切な場所であり、海のふるさと館、黄金岬の景勝地を市民の皆さん方で守るという意識で、また留萌の歴史を子どもたちに認識していただける場所ということで皆さんに愛される施設として生まれ変わろうとしているので、季節限定の開館になるが皆さん方のご支援をお願いします。

意見交換

- ・ 別紙意見交換概要

閉会にあたって(市長発言要旨)

- ・ 私も行政を預かって3年になりました。大変財政上厳しい状況にあったにもかかわらず市立病院で尚一層の財政再建をしなければならなくなりました。
- ・ 7年間の財政再建を、できるだけ早く、1年でも早くしたい。
- ・ 財政が厳しい中、まだまだ厳しい状況を乗り越えていくためには職員が一丸にならなければならない。病院も変わらなければならない。私自身も変わって、職員と一丸になってこの厳しさに立ち向かっていきたい。

- ・ 雇用は本当に厳しい状況にあると受け止めており、財政再建の中ではあるが雇用環境も守り続けるのも行政の大きな仕事であり、この町の経済のためにも少しずつでも回して、雇用に対しても行政として責任を果たし、何とか持続可能なまちづくりに向かっていきたい。
- ・ いただいた意見について、今後とも市として説明責任を果たし、そしてこれからも皆さん方とこういう場所を設けながら、皆さん方からいろんな意見を出していただけるように、より積極的にお話をしていただける場を作るだけでなく、そういう雰囲気を作り、できるだけ早めに日程を決めてお知らせをして、意思の疎通をしっかりと図った中で行政運営を進めて行きたい。
- ・ 次の予定は健康の駅、コホートピア構想ということで、留萌市としてどのような取り組みをするかということ、市内の町内会全般に渡って行き渡るように、とにかく健康に対して予防するということで、市民の皆さん方に病気になってほしくない、そのためには毎月1回健康の駅に行って血圧を測ったり、笹川院長の作ったメタボ問診票に記入するだけで相談員に相談すると検査を受けた方がよいとかというデータが出るので、とにかく全ての市民の皆さん方に自らの健康状態を知っていただくということを一番大切にしたいと思っている。
- ・ お年寄りが、子どもたちがいきいきとして、そして健康で笑顔で毎日を過ごしていただく、それが私どもの夢だと思っていますので、これからもご協力をお願い申し上げます。

（幌糠地区分）

- ・ 幌糠中学校の利活用をしながら、交流人口を少しでも増やしていくということを進めていかなければならないと考えている。
- ・ 市内の子どもたちにもできるだけ農業体験をさせて、これから留萌地域を挙げて農業をしっかり守るということを、教育の中でも取り組んでまいりたいと思いますし、留萌市内においても機会あるごとにこの地域の農業を守るということで、ひとりでも多くの方の協力をいただきながら進めてまいりたい。
- ・ 健康の駅では地元農産物を調理したり体験をしたりというようなアイデアも色々考えているので、皆さん方にも色んな角度から参加していただき、また健康の駅とこのコミセンを健康としてのつながりを作りながら、ここでできる行事については、健康サイドからという方面では積極的に取り組んでいきたいと考えている。